

教育  
相談室

# カウンセラーの窓から

「お久しぶりです」  
町中で、一人の若い女性に呼び止められました。声の主は、過去に相談を受けたことがあるアユミさん（仮名）でした。

アユミさんは、小学校の高学年に上がった頃から、朝になると頭痛や吐き気を感じるようになりました。学校に行かなくては…と頭では分かっているのに、布団から出られなくなり、放課後の習い事にも足が向かなくなりました。

「この子はこれからどうなるんだろう。自分たちの何がいけなかったのだろう」。アユミさんを連れて相談にみえた時の両親は、出口の見えないトンネルの中にいるような不安な気持ちを抱えていました。プレッシャーになるような事は言わないように家族で気をつけていたのに、欠席は長引いていました。

「アユミさんは、そろそろ家の中で退屈になっている頃ではありませんか。自宅に籠らず、少しの時間でも出かけてみてはどうでしょう。」

と提案したところ、学校外の施設を利用して開設された「適応支援教室」なら通えるようになりました。学校に出席したことと同じ扱いになるその教室で、高校進学目標を持つまでに心は回復し、面接相談は終わりました。

## 十年後の再会

環境を変えることで柔軟に見守り続けた両親は、自分で行こうと決めて教室に通い続けたアユミさんの意思の強さに驚きました。なぜなら、それまではどちらかと言うと、親の決めたことに素直に従っている事が多かったからです。

子どもは年月の経過と共に、やがて親から離れ自分の意思で歩き始めます。言葉が豊富になる二、三歳頃に、「いや」を連発する一次反抗期もそのステップの一つと言われます。

個人差はありますが、十歳頃から訪れる思春期では、親には知られたいくない世界を持ち始め、親との心理的な距

離は更に離れるようになります。「別に話すことないし…」「授業参観は来なくていい」、等と言われ、さみしい気持ちがあるのもこの頃です。そんな時は「もう、父さんや母さんが見ていなくても大丈夫」と子どもなりに頑張ろうとしているのだと、子の成長を意識してみているように感じました。私が子があよっぴり頼もしく思えるはずです。

さて、実に十年ぶりの再会に、「声を掛けてくれてありがとう。」と

言った私に、「出会った先生や仲間にはたくさん話を聴いてもらい、支えてもらった。あの時期があったから、回り道はしたけれど、今があるのかもしれない」と、アユミさんは話し、半年前から就職したことも報告してくれました。

(T・S)

「はくみ」は、家庭のあり方についてみなさんと一緒に考えていきたいと発刊しております。子育てのヒントになればと思います。ご意見をお聞かせください。

鯖江市教育委員会生涯学習課  
TEL 5312256

### ユークル キッズスタンプラリー

#### 参加者募集!

講座・イベントごとに押してもらえるスタンプ。3個以上集めると、記念品がもらえるよ!

講座・イベント名	期日	時間	参加費・定員
① スポーツチャンバラ教室	7/23 (木)	14:00~16:00	300円 20名
② カブトムシ手づかみ体験ツアー in 美山	7/25 (土)	13:30~17:00	2,000円 (親子ペア) 30名
③ 楽しいキッズダンス	8/4 (火)	13:30~14:30	300円 30名
④ わくわく学習塾	8/20 (木)	15:00~18:00	300円 30名
⑤ 作って遊ぼう「はしごくだり」	8/29 (土)	14:00~15:00	無料 30名

お問い合わせは、ユークルさばえまで  
鯖江市水落町2-24-2 TEL 0778-52-5988

# はくみ

家庭教育を考えるシリーズ

発行  
鯖江市教育委員会  
鯖江市社会教育委員会  
青少年健全育成鯖江市民会議

協力  
丹南青少年愛護センター鯖丹支所

48号

## 人とのかかありが 子どもを育てる



片上幼稚園・片上小学校『幼小連携：文殊山登山』



豊小学校『ステージに咲いたありがとうの花』



神明小学校『組体操 見せよう! 神明魂を!』



鯖江中学校『鯖中生徒会、朝のあいさつ運動』

# みなさんのご家庭では これだけは譲れないというお子さんとの約束やルールがありますか。

## 習い、性、性となる

### せいせい

## 生き方となる

ご家庭の数だけ、大切になさっていることがあるだろうと思います。小さなことでも続けていくことで、それはお子さんにとって人生を生きる上での大きな指針となるかもしれません。

家庭は、社会に出て人とどうかわるか、人として何を大切にするかという価値観を育てる、大切な学びの場なのではないのでしょうか。

三人の子どもにそれぞれ掃除の担当場所を決めて任せているわ。小学校入学前から続いています。

夫婦二人して、箸の持ち方は小さいときから厳しく言っているの。だって食べることは一生付いて回るものでしょ。

気もちよいあいさつ。家族でも朝のあいさつはしっかりやらねえとね。社会人としても大切だからね。

「人様に迷惑をかけない」ということは、じいちゃんから引き継いで自分が子どもたちにつづけていること。

ご先祖様に手を合わせることに。自分も小さいときからやっているから我が家では自然にそうしているよ。

「ありがとう」はしつこいくらい言わせているなあ。それがルールかな。

悪いことをしたららちやんと謝ること。人のせいにしてたり、ごまかしたりすることが一番卑怯だと教えています。

玄関で靴を脱ぐときに、きちんそろえさせています。玄関はその家の顔だからと話しています。

### 涓滴

## 「子育ては、いい家庭人育て」

子育ての最終目標は、いい家庭人をつくることではないでしょうか。

人は、いい家庭をつくるために、人を愛すること、人を思いやること、人の役に立つことを学びます。

あるお母さんが、子どもの教育のために、「子どもにも学校で何かボランティアをさせてくれませんか。」と先生に聞いてきました。先生は、お家の方からの申し出なので、どうしようかと迷いましたが、週末に、大好きなお花の水やりを頼んでみることにしました。子ども自身も、お母さんに認めてもらえるので喜んでいました。学校の先生も、「よく続けてくれたね。」と声をかけてくれます。近所の方もあたたかく見守ってくれています。

子どもは、ますます意欲的になり、いろいろな活動に取り組みます。

こんな報告があります。社会に出て活躍している方やリーダーとなっていらっしゃる子ども時代にも共通することがあるという調査報告です。

それは、生き生きと活躍している大人の方ほど、その子ども時代にボランティアで周囲の人に認めてもらえた経験が多かったという報告でした。

先のお母さんの申し出は、子どもの心を育てる場をつくったということになります。子育ては心育てです。

子育ては、しっかり勉強させ、社会で働ける人間にすることだという考えに触れてきました。自立した人間にすれば、社会でやっていける人間になると信じられてきました。

しかし、実際に子育てをしてみると、子どもの自己中心的な言動に動揺することもありません。子育ては、自立できる人間を育てるだけではないようです。いい家庭人になるための子育てが必要だということです。いい家庭人が、また、いい子どもを育てていきます。

夏休み、ご家庭で、家族の役に立つお手伝いを考えてもらえたらいいでしょうか。子どもたちが、いい家庭人になることを願いながら。

**ヤングテレホン**をご存知ですか？

丹南青少年愛護センターでは、青少年やその保護者の方からの相談に応じています。

**丹南青少年愛護センター 鯖丹支所**  
**52-6114 月~金 8:30~17:15**  
**E-mail:Aigoseitan@yahoo.co.jp**

「涓滴」とは「しずく」という意味。しずくも集まれば、やがて大河となることの願いを込めて。